

入札制度の適正化について

さいたま市水道局では、入札制度の適正化を図り、公正性、透明性、競争性をより高め、一層の公共工事の品質確保を進めてまいります。

1 建設工事について

(1) 予定価格の一部事後公表の拡大

予定価格の公表について、平成21年10月から原則として一般競争入札を対象に一部事後公表を実施していますが、更なる適正価格での入札を促進するため、実施割合を拡大します。

現 行

業 種	等 級	割 合
建築工事、とび・土工工事、電気工事、管工事、造園工事	S級、A級及びB級	3分の1から2分の1程度
土木工事	C級	3分の1程度
舗装工事	A級、B級及びC級	全て
塗装工事	—	3分の1程度

改 正

業 種	等 級	割 合
建築工事、とび・土工工事、電気工事、管工事、造園工事	S級、A級、B級 及びC級	2分の1程度
土木工事	S級、A級、B級及びC級	
舗装工事	A級、B級及びC級	全て
塗装工事	—	2分の1程度
上記以外の業種	—	2分の1程度

※業種別に割合を実施する。

(2) 単価契約（指名競争入札）工事における予定価格一部事後公表の試行

一般競争入札と同様に、単価契約（指名競争入札）について、更なる適正価格での入札を促進するため、予定価格一部事後公表の試行を行います。

対象件数 対象となる工事から数件程度

上記の改正は、平成30年4月1日以降に告示又は指名する案件から適用します。